

市町村図書館等への振興策について（案）

前回(10/25)に提示した市町村図書館等への振興策

1. 全市町村に向けた支援

＝市町村における図書館の価値・施策の優先度を高める

① 首長部局、教育委員会の各層へのセミナーや講座、働きかけの実施

市町村の首長部局(地域振興や財政部局等)、市町村の教育委員会(教育長や図書館行政所管課等)の双方に対して、各層に応じたアプローチで図書館の有用性を周知する。

〔展開例〕

⇒ 首長部局に対して

- ・ 町づくりにおける図書館の重要性をテーマとしたセミナーの実施
- ・ 図書館を通じた地域振興の全国の成功事例の情報提供
- ・ 行政支援サービスやデータベースのほか、市町村図書館に対するレファレンス支援や物流サービスなど、オーテピア高知図書館の機能のさらなる周知を通じた図書館の有用性の理解促進

⇒ 教育委員会に対して

- ・ 市町村の総合戦略や教育大綱に基づく取組に図書館を位置づけることの働きかけ
- ・ 市町村図書館と学校図書館の連携をテーマにした講座の実施

振興策に活用

② オーテピア高知図書館サービス計画にもとづく市町村立図書館等への支援

巡回訪問、物流サービスなど

2. 個別の市町村に向けた支援

振興策に活用

＝他市町村のモデルとなり得る成功例をつくる

③ 図書館(室)の振興に取り組む市町村への財政支援の検討

(今後、令和2年度当初予算編成において検討)

地域の特性やニーズを踏まえ、読書・情報環境の充実に向けて図書館(室)の振興に取り組む市町村に対して、手上げ方式で支援する。

支援例)

- ・ 集落活動センターを物流サービスの拠点とするための支援
- ・ 県内図書館横断検索システムへの加入支援
- ・ 移動バスによる巡回図書館サービスの充実に向けた支援
- ・ 図書や読書に関するイベント等の開催の支援

④ 新たな整備計画が進んでいる図書館への支援

新しい図書館が円滑な運営や継続的なサービス展開が行えるよう、基本構想や整備計画策定への支援や、職員の育成や地域人材の活用等人的支援を実施。

支援例)

- ・ 市町村の総合戦略と連動した構想・計画策定への働きかけ
- ・ 県立図書館と市町村立図書館との人事交流の検討
- ・ 高校生や大学生のボランティア確保の支援

前回(10/25)の意見

○ 高知の図書館の本質みたいなものを示せると、いろいろな計画がそこへ紐づく。

○ 行政の中だけで意識が高まっていくのではなく、**県民の中から動きが起きていくような仕掛け**をしていかないと、市町村行政のマインドは変わっていかない。

○ 箱物等の点と点がつながり、線となっていくような取組を、上からではなく自然に地域の方がしているところが素敵だなと感じた。

○ 市町村にこちらのメニューを見せて働きかけるよりも、**ニーズに合わせたコンサルティング**のような要素が必要。

○ ニーズの掘り起こしなどの実例や具体的な検討を示し、手応えを与えられる「**善意のお節介**」のような活動が必要に思える。

これまでの取組

○ 会議等における市町村への働きかけ(再掲)

各市町村に県の取組や図書館振興による効果等の説明を実施。(R1.10～)

- ・ 教育委員会 4回(内1回資料提供)
- ・ 総務・財政担当 1回
- ・ 地域支援企画員 1回資料提供
- ・ 行政担当者 1回

○ 市町村訪問(再掲)

各市町村に訪問し、図書館状況、課題、要望等の聞き取りや県の振興策・支援について説明を実施。

(令和元年度)

- ・ 支援策策定に向けた訪問：14市町村
- ・ 財政支援に向けた訪問：8市町村

(令和2年度)

- ・ 図書館整備状況の聞き取り訪問：3市町
- ・ 図書館状況の聞き取り訪問：2町村

○ サービス計画にもとづく支援(再掲)

4. 連携・支援及び図書館の活用 (1) 市町村立図書館等への支援

県民がそれぞれの地域で、読書し、役に立つ情報が得られる環境を整える

① 人的支援

- ・ 巡回訪問や依頼訪問等による支援
- ・ 研修の実施

② 物的支援

- ・ 市町村のニーズに応える資料の収集提供
- ・ 物流便による資料の発送

③ PR

- ・ 広報誌への掲載等

今後の展開

○ 図書館振興に向けた「目指すべき姿」＝地域の可能性を広げる「**知のインフラ**」としての図書館

「目指すべき姿」に向けた取組の一つとして

○ 地域による図書館サービスの利用促進を支援し、①～③の実行を目指す。

- ① 図書館を通じた地域の課題解決への寄与、深みのある成果の体験。
- ② 「本(絵本や小説)を借りるだけの場所」というイメージ(ステレオタイプな図書館)からの脱却。
- ③ 図書館に対する地域(住民、企業、福祉、農業、行政、教育等)からの需要の喚起。

図書館サービスの利用を促進させるためには・・・

・ レファレンスサービス、ビジネス支援、アウトリーチサービス等

図書館サービスを利用し、**普段の生活や仕事に深みを与えることを地域の方が知り、体験することで、図書館に対する需要を喚起させる必要がある。**

県として、地域の特徴やニーズに準じたサービスを市町村で展開させるために、個別・具体的な支援を提供(コンサルティング)する。

全市町村に向けた支援

① 首長部局、教育委員会を対象としたセミナーや講座、働きかけの実施

- ・ 図書館サービスへの理解を深める講座や体験の提供(対象)市町村(行政や教育委員会)、地域支援企画員 など

- ・ 図書館を活用した家庭教育への支援(家庭教育支援基盤形成事業)[拡充] 親子参加型イベントの実施や保護者への学習機会の提供等による経費を補助し、地域における家庭教育の向上を図る。

活用事業例: ブックスタート、絵本の読み聞かせ、親子ふれあい活動

補助率: 国1/3、県1/3、市町村1/3

効果: 親子での継続した図書館利用の契機

個別の市町村に向けた支援

② 図書館(室)の振興に取り組む市町村への支援

③ 新たな整備計画が進んでいる図書館への支援

・ 図書館利用促進支援

住民や施設職員等を対象に、地元でニーズのある分野と図書館との連携・活用の在り方を学びながら、レファレンスやビジネス支援を体験する機会をつくり出す。

効果: 来館者・レファレンス件数の増加、他業種の連携強化 等
⇒ 地域からの図書館への需要拡大

・ アウトリーチサービス拡充支援

アウトリーチサービスの拡充に向け、対象となる地域の施設や図書館環境を分析し、適切な規模での実施が行えるよう、サービス内容の企画・提案や運営体制の指導等の支援を行う。

効果: 図書館へのアクセスシビリティの向上
⇒ 図書館の利用機会の増加、地域からの図書館への需要拡大